

## ～ごあいさつ～

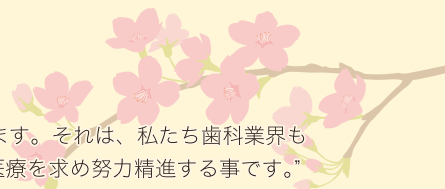
新しい一年が始まり早4ヶ月、皆様いかがお過ごしでしょうか？

今年に入り、日本経済も明るい方向に動き出しましたが、まだまだ厳しい環境が続く事が予想されます。それは、私たち歯科業界も同じであります。そんな中、私が一番大切にしている事が、当然ではありますが「常に本質の歯科医療を求め努力精進する事です。」

今年も更なる学術向上にて、多くの来院者の皆様の健康をサポートしていきたいと考えております。何卒宜しくお願い致します。

平成 25 年 4 月

院長 川崎 俊明



### 特集

## 歯科再生療法

世間で噂の*IPS細胞*…人工多能性幹細胞 (induced pluripotent stem cell)。万能細胞の一つ。ES細胞 (胚性幹細胞・Embryonic stem cell) と同じように様々な細胞への分化が可能で、再生医療・創薬への応用が期待されている。

### 歯科における再生療法

虫歯や歯槽膿漏などで失った歯肉、骨や歯を再生するという最新の再生医療技術です。歯の治療で『再生』という言葉を知って、驚かれますか？

歯のほとんどは無機質でできているので、再生を起こすような細胞は含まれていません。しかし、歯の根の部分の歯槽骨・歯根膜・セメント質・歯肉などは組織を作る細胞から出来ており、特殊な方法で細胞を増やすことが出来ます。生体組織工学の進歩により、失われた歯周組織の再生が可能となってきました。



歯科治療で、どのように再生療法が応用されているのか？大きく分類すると、以下のようになります。

- 歯周病で骨の形が垂直的に溶けている場合
- 歯槽骨の再生
- 歯を喪失してやせてしまった骨の再生
- 失くした歯の代わりにインプラント



今回は、勤務医の陶山先生が福岡歯科大学の学会発表にて発表された症例をご紹介します。

### 福岡歯科大学学会発表 2012.11.18

2012年11月18日 日曜日 福岡歯科大学本館 9階にて福岡歯科大学学会が開催され、一般公演で『エムドゲイン®と骨補填剤を併用した歯周組織再生療法の有効性の検討』という演題で発表してきました。

歯周病とは、歯の根を支えている骨が溶け、歯がグラグラしたり、歯茎から膿みがでる病気です。

以前は、一度失った骨は残念ながら元に戻すことができず、抜くしかありませんでした。

ですが、歯周病治療の進歩により、いくつかの方法にて骨の再生が可能となっています。

それが、歯周組織再生療法で、そのうちの 하나가、エムドゲイン®です。(適応症がありますので、医師・スタッフにご相談ください。) この歯周組織再生療法とは歯周病で失った顎の骨を再生し、歯を残す治療法です。エムドゲイン®とは歯を支えている骨の再生に必要な

タンパク質(エナメルマトリックスタンパク質)です。今回発表した内容は、エムドゲイン®のみで、骨が再生することは多いのですが、骨が大きく減っている場合エムドゲイン®のみでは骨の再生が十分でないことがあります。そのような場合に骨補填材と一緒に使うことで、骨が再生するためのスペースを確保し、骨をより多く再生することができた症例の発表でした。

#### ● 治療例 (2年6ヶ月)



治療前 2009.10.7



治療後 2012.7.17

Report

